

標識トランプを活用した段階的トランプリハビリテーション課題の開発と効果

桔梗ヶ原病院

松塚翔司

【背景】標識トランプとは、数字・マークに加えて標識が記されたトランプである。当院では 2023 年から標識トランプをリハビリテーション課題として使用しており、今回、段階的トランプリハビリテーション課題（以下、トランプリハ）について報告する。

【方法と特徴】トランプリハの目的は、自動車運転再開に必要な正確性、情報処理速度、マルチタスクの 3 要素を改善することである。特徴は、1. 難易度設定に基づき段階的に展開することでリハビリテーション目標が明確になり、患者に統一した課題を提供できること、2. 机上課題で課題提示の難しいマルチタスク訓練が可能であることである。

【結果と考察】対象者への実施結果では、全例が最終段階まで達成可能であり、難易度設定の妥当性が示唆された。

【結語】トランプリハは、運転に必要な注意機能や処理能力の向上が期待でき、ドライビングシミュレータ実施期間の短縮につながる可能性がある。